

15歳からはじめる、お金の教育。



金融リテラシー



SDGs[※]

お金の教育というと、儲ける方法のように思われがち。

でも、お金について学ぶことは、人生を考えるうえで重要なこと。

自立して生きるために必要な金融リテラシーと、社会の潮流であるSDGsを合わせて学び、

人生100年時代に自分らしい未来を描けるよう、15歳から備えます。

※Sustainable Development Goals: 持続可能な開発目標



千葉商科大学附属高等学校
CHIBA UNIVERSITY OF COMMERCE HIGH SCHOOL

未来を創る、千葉商科大学との高大一貫教育。

金融教育の歴史と実績があり、SDGsにも力を入れている千葉商科大学。
その強みを生かした高大一貫教育では、これからの社会について考えながら、一人ひとりが自分のライフプランをデザインし、適切なお金との関わり方を身につけます。
また、より良い社会づくりに貢献する、持続可能な消費や投資についても学べます。
付属高校での3年間の学びを継続して千葉商科大学で深く学び、資格取得もめざすことができます。



そもそも
金融リテラシーって何？

Answer

「リテラシー」とは、「ある分野における知識やその活用能力」のこと。「金融リテラシー」の場合は、「お金に関する正しい知識や適切な判断力」を意味します。社会の中で安定した生活を送るために、とても重要な能力です。



どうして
学ぶ必要があるの？

Answer

人生が進むと生活や環境、社会も変わり、進学や就職、結婚といった節目となるライフイベントには、お金も関わってきます。人生100年時代、持続可能な社会を見据えて、お金の面から自分が望むライフプランを描くことが必要です。
また、成年年齢が18歳になり、自分の意思でさまざまな契約ができるようになったことで、トラブルに巻き込まれないための知識が必要です。



具体的に
どんなことを学ぶの？

Answer

SDGs

SDGsとは社会が抱える問題を解決し明るく豊かな未来をつくることをめざす国際目標です。将来を考えるうえでSDGsについて理解する必要があります。地球環境・社会問題に取り組む企業・団体の調査をきっかけにSDGsの理解を深め、将来のために、どのようなアクションを取れるかを探究します。

金融リテラシー I

将来のライフイベント、夢の実現のためには、お金の面からライフプランを考える必要があります。そのために必要なお金に関する知識(家計管理の方法や就職・給料、税金・社会保険の仕組み、貯蓄・投資、契約など)を学び、ライフプランとそれに基づくファイナンシャルプランを作成します。

金融リテラシー II・III

自分がデザインしたライフプランについて、住宅取得プラン作成などのケーススタディや家計や税金の計算アプリを活用するなど、実践的に学びます。さらに、個人にお金のアドバイスができる「ファイナンシャルプランナー(FP)」に求められる高度な金融知識を学び、ライフプランの実現可能性を高めていきます。

自分も社会も豊かになる「お金の使い方」を学ぼう！

金融リテラシー教育は、投機で儲けるというような話でなく、自分の人生を考えながら、そのためのお金の使い方や貯め方を学ぼうというものです。たとえば10年後に自分は何をしていて、両親や祖母はどんな生活をしているか。もしかすると、親御さんの退職や祖父母の介護が重なるかもしれません。そうやって考えることが、

経済的に自立する心構えを養います。

また、金融リテラシーとSDGsを併せて学ぶのも千葉学園ならではの取り組みです。環境破壊や戦争などの社会問題は、将来の人生プランにとって大きなリスクです。そうした問題を解決するための寄付や投資など、世のため人のためになるお金の使い方についても学びます。



いとう こういち
伊藤 宏一

千葉商科大学
人間社会学部教授
NPO法人日本FP協会
専務理事
CFP®認定者・税理士
パーソナルファイナンスを
専門とし、金融リテラシー
やライフプランニングの
授業を担当

本校の金融リテラシー教育はNPO法人日本FP協会と包括協定を締結し連携しています

